

# 第5章 地域別構想

## 1 地域区分

地域別構想は、本市を6つの「地域」に区分し、それぞれの地域のまちづくり方針を定めます。区分に当たっては、まちづくりのまとまりや地形地物、土地利用、日常生活の交流条件などを考慮し、下記に示す区域に区分します。



図 地域区分

地域名	対象地区	特徴（概略）
北部	月瀬 石貫 三ツ川	市北部に位置し、小岱山、その麓の農地など、自然的土地利用が大半を占めるエリアである。この地域には、石貫ナギノ横穴群などの史跡が点在している。
中部	玉名町 築山 玉名	市中央部に位置し、 <b>既成市街地及び市街地化が進んでいるエリア</b> である。市役所をはじめとする官公庁・新玉名駅・玉名駅など、多くの公益施設が集積する。地域の主要幹線道路として、国道208号、県道寺田岱明線が横断している。
西部	滑石 睦合 大野 高道 鍋	市西部に位置し、 <b>岱明地区を中心とした菊池川右岸のエリア</b> である。地域の大半は田畑などの田園地帯が広がる自然に恵まれた地域となっている。中央部を東西に走るJR鹿児島本線には、大野下駅が立地している。南側の有明海沿岸部には、交流拠点の鍋松原海岸がある。
東部	伊倉 八嘉 小田 梅林	市東部に位置し、 <b>地域中央部を走る国道208号、県道寺田岱明線、県道熊本玉名線を軸とした菊池川左岸のエリア</b> である。田園地帯と森林地帯に大別され、桃田運動公園、伊倉商店街、肥後伊倉駅を有する。
南部	豊水 大浜 横島	市南部に位置し、 <b>横島地区を中心とした菊池川左岸のエリア</b> である。干拓による田園地帯における施設園芸などが盛んである。地域中央を国道501号が走り、有明海にも面している。
南東部	玉水 小天 小天東	市南東部に位置し、 <b>天水地区で構成されるエリア</b> である。金峰山系の緩やかな傾斜面を活用した果樹栽培が盛んな中山間地と田園地帯からなり、熊本市と隣接する。

## 2 地域別まちづくりのテーマ・方針

本市の都市づくりの目標である、『人と自然が輝き やさしさと笑顔にあふれるまち 玉名』を達成するため、市域の6つの地域がそれぞれの地域特性を活かしつつ、役割を分担し、全体としての調和のとれた発展を遂げるよう、各地域におけるまちづくりのテーマを設定します。

地域	各地域のまちづくりのテーマ・方針
北部	<p><b>里山のやすらぎと安心・つながりのある北部地域へ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 豊かな自然環境に囲まれたやすらぎと安心のあるまちづくり</li> <li>◆ つながりのある地域づくり</li> </ul>
中部	<p><b>自然と調和した便利で活気あふれる中部地域へ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 「県北地域の発展を主導する交流拠点都市」の中心部としてふさわしい地域づくり</li> <li>◆ 観光振興や交流の推進を通じた活気あふれる地域づくり</li> </ul>
西部	<p><b>地域資源を誇り、つながりを基軸とした暮らしやすい西部地域へ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 地域資源を見つめ直し、活用したまちづくり</li> <li>◆ 交流やつながりを通じた暮らしやすい地域づくり</li> </ul>
東部	<p><b>自然と歴史を感じ安心して生活ができる東部地域へ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 自然的資源や歴史的資源を活かしたまちづくり</li> <li>◆ つながりのある安心して生活ができる地域づくり</li> </ul>
南部	<p><b>干拓地を活かした 歴史・文化を感じる南部地域へ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 自然環境の保全と地域資源としての活用による自然と共生したまちづくり</li> <li>◆ 歴史・文化を感じる暮らしやすい地域づくり</li> </ul>
南東部	<p><b>丘陵地の自然と文化が息づく 交流といやしのある南東部地域へ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 豊かな自然や歴史・文化を活かしたまちづくり</li> <li>◆ 交流といやしのある暮らしやすい地域づくり</li> </ul>

### 3 地域ごとの今後の方向性

地域ごとの今後の方向性について、以下に整理しています。

#### 北部地域 「里山のやすらぎと安心・つながりのある北部地域へ」

- ①豊かな自然環境に囲まれたやすらぎと安心のあるまちづくり
  - ・小岱山や菊池川、繁根木川、山林や田畑などの自然環境の保全・活用
  - ・県道玉名八女線、県道玉名立花線沿道の集落の快適な住環境の維持など
- ②つながりのある地域づくり
  - ・産業集積の土地利用の推進（三ツ川地区の一部）
  - ・小岱山麓の農業集落における代々受け継がれてきた里山景観の保全
  - ・装飾古墳や、寺社や山城など数多くの歴史的資源の継承・活用
  - ・九州看護福祉大学との連携・協力
  - ・地域コミュニティの維持・向上（小学校に代わるコミュニティ活動拠点の形成）

#### 西部地域 「地域資源を誇り、つながりを基軸とした暮らしやすい西部地域へ」

- ①地域資源を見つめ直し、活用したまちづくり
  - ・菊池川、有明海沿岸部、田畑等の自然環境の保全・活用
  - ・「開田のホタル」、「日嶽」、「菊池川のハゼ並木」や「大野下の大ソテツ」、「晒船着場跡」、「鍋松原海岸」等、幅広く特色のある地域資源の活用
  - ・農水産業の振興に繋がるまちづくり
- ②交流やつながりを通じた暮らしやすい地域づくり
  - ・小学校区単位を基礎とした地域コミュニティ活動の推進
  - ・鍋松原海岸におけるスポーツ及びコミュニティ活動の推進
  - ・岱明支所周辺の公共公益施設の集約化

#### 南部地域 「干拓地を活かした 歴史・文化を感じる南部地域へ」

- ①自然環境の保全と地域資源としての活用による自然と共生したまちづくり
  - ・有明海沿岸部、菊池川、干拓による田園地帯等の自然環境の保全・活用
  - ・農水産業の振興に繋がるまちづくり
- ②歴史・文化を感じる暮らしやすい地域づくり
  - ・廻船問屋街、大浜飛行場及び関連施設跡、石塘・石塘樋門、旧玉名干拓施設等の歴史的資源の継承・活用
  - ・横島支所周辺の公共公益施設の集約化



#### 市全域

##### 市街地ゾーン周辺の農地

- ・本市の基幹産業である農業の振興を進めると同時に、豊かな自然環境や美しい田園景観の形成などにも寄与している区域として保全を図る



**中部地域 「自然と調和した便利で活気あふれる中部地域へ」**

- ① 「県北地域の発展を主導する交流拠点都市」の中心部としてふさわしい地域づくり
  - ・本市の主要な都市機能集積に応じた人口集積の推進及び賑わいのある交流エリアの形成
  - ・新玉名駅周辺：有効な土地利用による拠点性向上
  - ・玉名駅周辺：交通結節点としての機能向上、アクセス性の向上、拠点性向上及び賑わいのある交流エリアの形成
  - ・玉名市役所本庁舎周辺：行政サービス機能の集積・強化
  - ・旧玉名市役所周辺：賑わいのある市街地形成
  - ・公立玉名中央病院跡地の有効活用に向けた検討
- ② 観光振興や交流の推進を通じた活気あふれる地域づくり
  - ・玉名温泉街、高瀬地区、山田の藤等、市を代表する観光施設や菊池川等の自然景観の有効活用・交流の推進
  - ・蛇ヶ谷公園等におけるレクリエーション、スポーツ及びコミュニティ活動の促進

**東部地域 「自然と歴史を感じ安心して生活ができる東部地域へ」**

- ① 自然的資源や歴史的資源を活かしたまちづくり
  - ・菊池川や農地等の自然環境の保全・活用
  - ・農業の振興につながるまちづくり
  - ・梅林天満宮、伊倉南北両八幡宮などの歴史資源の継承や活用
- ② つながりのある安心して生活ができる地域づくり
  - ・桃田運動公園等の市民の憩いの場、スポーツ及びコミュニティ活動の場における交流機能の維持・向上
  - ・花づくりや伊倉フットパス等の市民主体の交流活動の推進
  - ・地域コミュニティの維持・向上（小学校に代わるコミュニティ活動拠点の形成）

**南東部地域 「丘陵地の自然と文化が息づく交流といやしのある南東部地域へ」**

- ① 豊かな自然や歴史・文化を活かしたまちづくり
  - ・金峰山系の山々、田園地帯などの自然環境の保全・活用
  - ・農業の振興につながるまちづくり
  - ・前田家別邸、草枕温泉てんすい、草枕交流館、実山展望公園、尾田の丸池、笠智衆の生家など様々な地域資源や特色ある景観資源の活用
- ② 交流といやしのある暮らしやすい地域づくり
  - ・金峰山系山間部は休息やレクリエーションの場としての活用の推進
  - ・小天温泉における既存観光施設の有効活用や活性化
  - ・天水支所周辺の公共公益施設の集約化
  - ・計画的な土地利用による集落の維持向上

**市全域**

**菊池川などの河川空間**

- ・浸水などの災害に備えた河川改修を促進するとともに、生態系に配慮した多自然川づくりを推進
- ・生態系に十分配慮した環境共生の取組や、豊かな市民生活の実現や健康増進に向けた憩いの場として積極的な活用を図る
- ・豊かな自然環境を保全していくために自然と共存した都市づくりを推進

## 4 地域別構想

### 4.1 北部地域（※対象地区：月瀬、石貫、三ツ川）

#### （1）地域の現況

##### 〔地勢〕

- 南関町、和水町と隣接する市北部に位置し、小岱山や菊池川、繁根木川などの自然的資源に恵まれたエリアです。
- 地域の大半を山林や田畑が占めており、谷あいを走る地域の主要な動線である県道玉名八女線、県道玉名立花線沿道に主に集落が形成されています。

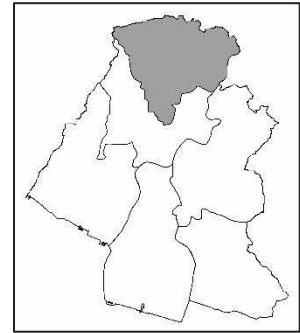
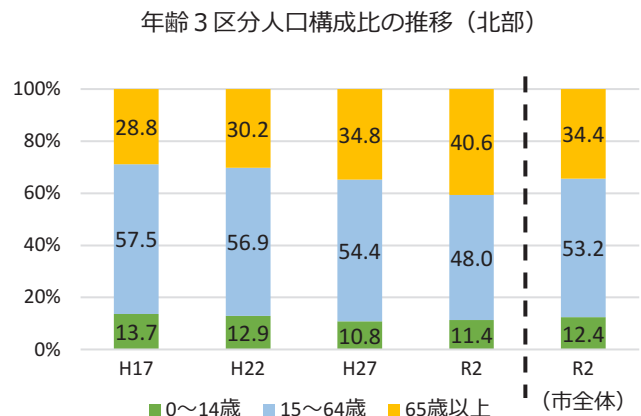
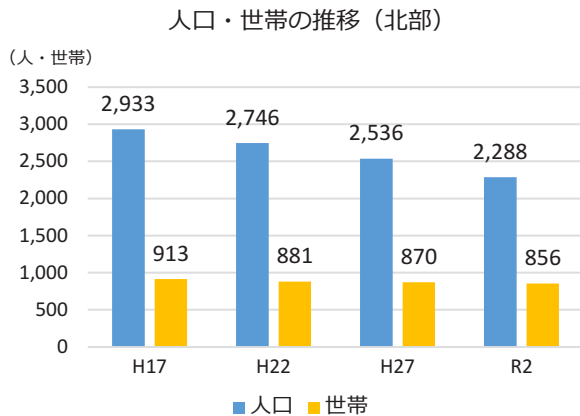


図 北部地域の位置

##### 〔人口〕

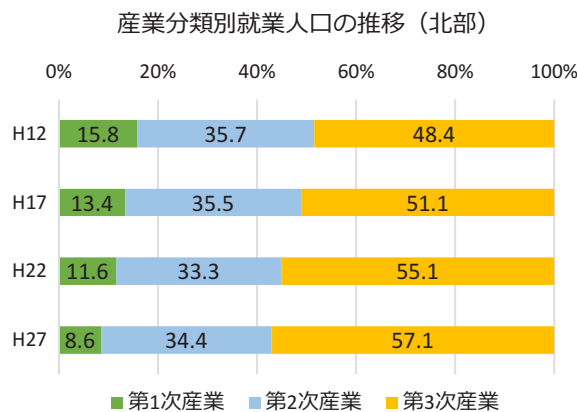
- 人口は減少傾向です。年齢3区分人口構成比の推移を見ると、令和2年の高齢化率は市全体よりも高く、平成27年から令和2年にかけて急速に高齢化が進展しています。



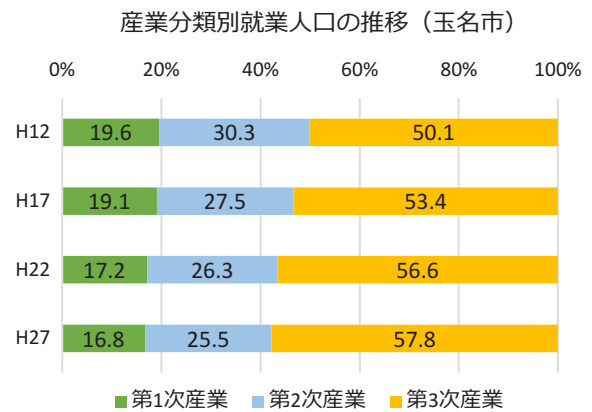
[出典：国勢調査]

##### 〔産業構造〕

- 産業分類別就業人口の推移を見ると、市全体と比べて、第1次産業の割合が若干低く、第2次産業の割合が若干高くなっています。



※分類不能の産業を除く



※分類不能の産業を除く

[出典：国勢調査]

## 〔地域住民の評価〕

○アンケート調査からは、「身近な生活基盤(道路、公園、下水道等)の整備・改善」、「治水・治山などの防災対策強化」、「公共下水道、集落排水、浄化槽などの整備による河川・海洋などの水質保全・浄化」などを重要だとする回答者が多い傾向にあります。

表一 将来の本市のまちづくりへの期待（北部地域、各観点で1位のを抜粋）

観点	最も重要なもの	件数	選択肢内の比率
住宅地の環境向上	身近な生活基盤（道路、公園、下水道等）の整備・改善	82	60.7%
防災	治水・治山などの防災対策強化	81	59.1%
水環境に関わる施設の整備	公共下水道、集落排水、浄化槽などの整備による河川・海洋などの水質保全・浄化	80	58.4%
商業地	郊外部やバイパスなど幹線道路沿いへの商業施設の誘導	77	57.5%
道路・交通の整備	市街地・集落内における狭い道路の改善	77	56.2%
公園・緑地の整備	海岸や河川、森の中の豊かな自然、史跡などの地域特性を活かした公園の整備	64	47.4%
観光地	既存観光施設の有効活用や活性化	56	44.1%
街並み・景観	市街地、駅前などでの賑わいのある景観づくり	59	43.1%
農地、山林	まちの大切な自然として積極的に保全し、現状の農地や山林は維持すべき	57	42.2%
工業地	工業団地等の整備による新たな工業用地の確保	52	39.1%

## （２）本地域における主要課題

### 〔豊かな自然環境の保全・活用〕

○小岱山に連なる丘陵地をはじめとした自然的要素を市民の財産として後世に継承するとともに、新たな賑わいを創出する地域資源として更なる活用を図る必要があります。

### 〔豊かな自然環境に囲まれた居住地としての快適性の維持〕

○県道玉名八女線、県道玉名立花線沿道の集落においては、豊かな自然環境に囲まれた、落ち着いたある快適な住環境を維持する必要があります。

### 〔安全で安心できる暮らしの実現〕

○繁根木川流域における浸水被害、小岱山に連なる丘陵地における土砂災害などといった自然災害や、火災、交通事故、犯罪などによる被害を抑制・軽減するため、地域住民と行政が一体となり、安全性の確保に努める必要があります。

### 〔地域コミュニティの維持・向上〕

○地域住民と関係団体による連携や、市民と行政との連携により、歴史的資源の継承・活用を含めた地域コミュニティを維持する必要があります。

### (3) 基本的な考え方・テーマ

#### 「里山のやすらぎと安心・つながりのある北部地域へ」

本地域では、「里山のやすらぎと安心・つながりのある北部地域へ」をテーマに取り組みます。  
具体的には、「豊かな自然環境に囲まれたやすらぎと安心のあるまちづくり」、「つながりのある地域づくり」を推進します。

### (4) まちづくりの方針と主要な施策

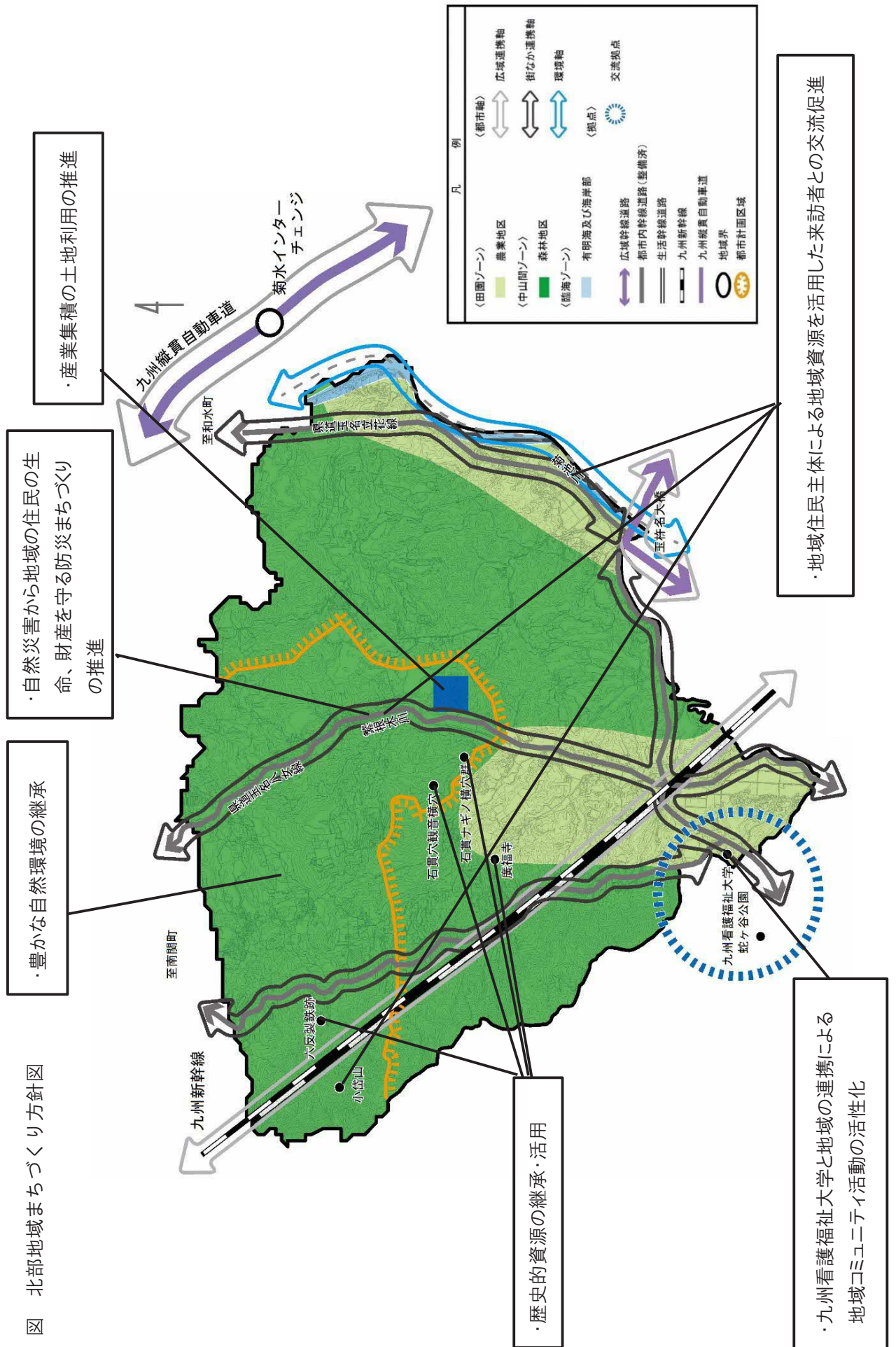
#### 〔豊かな自然環境に囲まれたやすらぎと安心のあるまちづくり〕

豊かな自然環境の継承	<ul style="list-style-type: none"> <li>○小岱山に連なる丘陵地は、現在、小岱山森林公園整備連絡協議会が、保全林整備と森林公園内保護管理及び運営を行っています。今後も、引き続き、豊かな自然環境とのふれあいの場、玉名らしい景観形成への活用、休息やレクリエーションの場としての活用を図ります。</li> <li>○里山環境の保全に向けた維持・管理の取組を検討します。</li> <li>○営農環境の向上と農地の保全・活用、耕作放棄地の適正管理並びに利活用に向けた支援を実施します。</li> <li>○不法投棄の防止対策を講じます。</li> </ul>
地域住民主体による地域資源を活用した来訪者との交流促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○本市の環境軸である菊池川や繁根木川におけるウォーキングコースなどの整備を推進します。</li> <li>○小岱山登山ルートの新整備並びに誘導サイン・案内サインの設置等を引き続き推進します。</li> </ul>
豊かな自然環境との共生による住環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>○空き家・空き地の解消及び活用に向けた取組を実施します。</li> <li>○県道玉名八女線、県道玉名立花線沿道の集落の快適な住環境の整備・改善を図ります(個人設置型浄化槽設置に対する補助金の交付、水道施設の計画的な更新、老朽化した公園施設の再整備等)。</li> </ul>
適切な土地利用の誘導による居住環境と営農環境の調和	<ul style="list-style-type: none"> <li>○既存農地における無秩序な宅地化の防止並びに既存集落への住宅立地を誘導します。</li> </ul>
自然災害から地域の住民の生命、財産を守る防災まちづくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○繁根木川などにおける河川改修を推進します。</li> <li>○土砂災害警戒区域における段階的な改善対策の推進を図ります。</li> </ul>

【つながりのある地域づくり】

<p>市民と行政による協働のまちづくりの推進</p>	<p>○地域農産物などを活かした地域住民と来訪者との交流の場・機会づくりを推進します。</p> <p>○地域住民や関係団体が一体となって活動する組織に対する支援を実施します。</p>
<p>地域コミュニティの維持・向上</p>	<p>○公民館や集会所、空き家(遊休不動産)などの既存施設を活用した活動拠点の形成を図ります。</p> <p>○小学校に代わるコミュニティ活動拠点の形成を図ります。</p>
<p>産業集積の土地利用の推進</p>	<p>○三ツ川地区の一部においては、現在、民間開発による産業団地の造成計画が進んでいます。今後、産業集積の土地利用が進んでいく可能性があるため、企業立地推進計画の中で地域未来投資促進法における重点促進区域として位置付けています。</p>
<p>情報通信環境の改善</p>	<p>○三ツ川地区・石貫地区では、引き続き、情報通信環境(インターネットなど)の改善を図ります。</p>
<p>歴史的資源の継承・活用</p>	<p>○古墳時代に造られた装飾古墳や、寺社や山城など多くの歴史的資源が点在しており(例:石貫ナギノ横穴群、石貫穴観音横穴、六反製鉄跡、廣福寺)、それらの継承・活用を図ります。</p>
<p>九州看護福祉大学と地域の連携による地域コミュニティ活動の活性化</p>	<p>○九州看護福祉大学は、市内外から数多くの学生が集い交流する公設民営で設立された県北唯一の大学であるとともに、生涯学習や健康推進などの様々な情報の発信や地域との交流の拠点であることから、更なる交流機能の維持・向上を図ります。</p>





## 4. 2 中部地域（※対象地区：玉名町、築山、玉名）

### （1）地域の現況

#### 〔地勢〕

○市中央部に位置し、地域北側を除いた地区全般において、市街化が進んでいるエリアです。地域の主要な幹線道路として、国道 208 号、県道寺田岱明線が横断しています。

○市役所をはじめとする官公庁施設、くまもと県北病院などの医療・福祉施設、観光拠点である玉名温泉街、交流拠点である蛇ヶ谷公園、交通拠点である新玉名駅及び玉名駅、商業・業務施設、教育施設など、本市の主要な都市機能が集積しています。

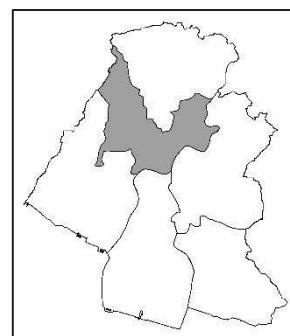
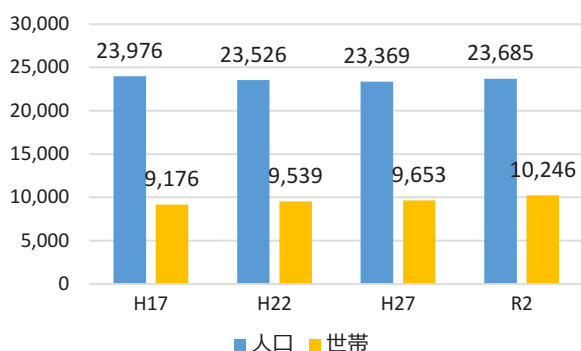


図 中部地域の位置

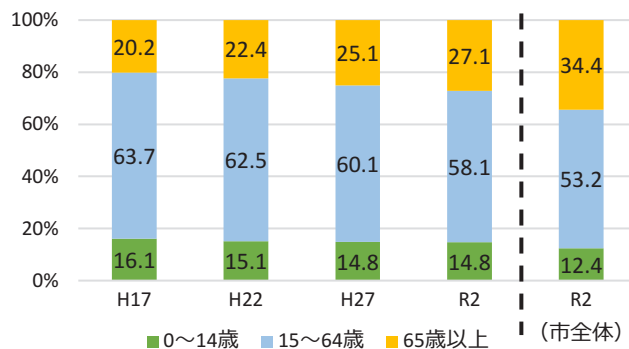
#### 〔人口〕

○人口はほぼ横ばいで推移しています。年齢3区分人口構成比の推移を見ると、令和2年の高齢化率は市全体よりも低く、緩やかに高齢化が進行しています。

人口・世帯の推移（中部）



年齢3区分人口構成比の推移（中部）

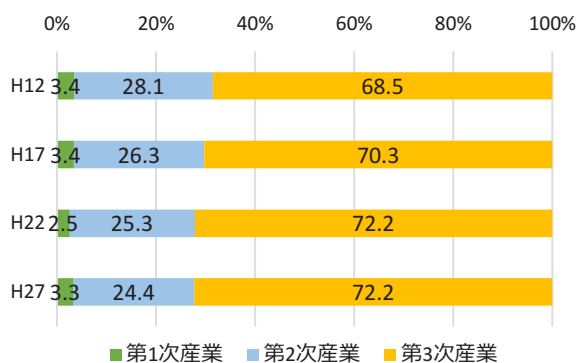


[出典：国勢調査]

#### 〔産業構造〕

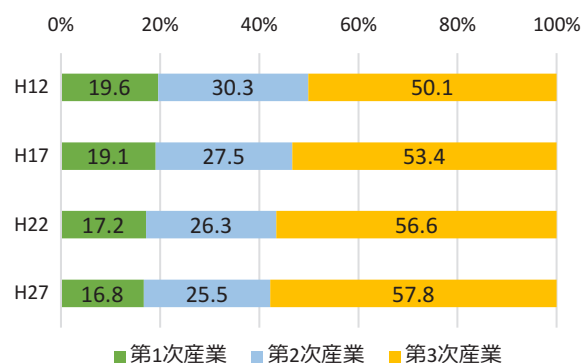
○産業分類別就業人口の推移を見ると、市全体と比べて、第1次産業の割合が非常に低く、第3次産業の割合が非常に高くなっています。第3次産業の割合は6地域の中で最も高くなっています。

産業分類別就業人口の推移（中部）



※分類不能の産業を除く

産業分類別就業人口の推移（玉名市）



※分類不能の産業を除く

[出典：国勢調査]

### 〔地域住民の評価〕

○アンケート調査からは、「身近な生活基盤（道路、公園、下水道等）の整備・改善」、「安全でおいしい水を安定供給できる上水道施設の整備」、「治水・治山などの防災対策強化」などを重要だとする回答者が多い傾向にあります。

表一 将来の本市のまちづくりへの期待（各観点で1位のを抜粋）

観点	最も重要なもの	件数	選択肢内の比率
住宅地の環境向上	身近な生活基盤（道路、公園、下水道等）の整備・改善	81	58.7%
水環境に関わる施設の整備	安全でおいしい水を安定供給できる上水道施設の整備	73	53.7%
防災	治水・治山などの防災対策強化	70	51.5%
商業地	様々な生活利便施設が整った中心市街地の整備	67	49.3%
街並み・景観	市街地、駅前などでの賑わいのある景観づくり	66	48.2%
道路・交通の整備	市街地・集落内における狭い道路の改善	61	45.2%
観光地	既存観光施設の有効活用や活性化	59	43.4%
公園・緑地の整備	身近で日常的に利用できる小さな公園、広場の整備	54	40.0%
工業地	工業団地等の整備による新たな工業用地の確保	53	39.0%
農地、山林	まちの大切な自然として積極的に保全し、現状の農地や山林は維持すべき	51	38.1%

## （2）本地域における主要課題

### 〔交流拠点都市の中心部としての拠点性向上〕

○「県北地域の発展を主導する交流拠点都市」の中心部として、また、本市の中心拠点として、多くの来訪者・来街者を受け入れる受け皿づくりや、本市全体での交流促進を図るためのソフト・ハード対応を図る必要があります。

### 〔利便性の高い快適な市街地環境の形成〕

○本地域の市街地は、公共・公益サービス、商業・業務サービス、情報発信などの各種機能の維持・集積を図る中心拠点として、さらには、本市における計画的な住宅市街地形成を重点的に進める地区として、更なる市街地の整備・改善に努める必要があります。

### 〔本市の中核を担う市街地としての防災性向上〕

○大規模災害を想定し、防災拠点の機能を併せ持つ本市の中核を担う地域として、防災機能の向上に努めるとともに、中心拠点～市内各拠点間のアクセス確保に努める必要があります。また、浸水被害や、火災、交通事故、犯罪などによる被害を抑制・軽減するため、地域住民と行政が一体となり、安全性の確保に努める必要があります。

### 〔地域コミュニティの維持・向上〕

○伝統・文化の継承や新しい地域活動を通して、地域住民と関係団体による連携や、市民と行政との連携により、地域コミュニティの活性化を図る必要があります。

### (3) 基本的な考え方・テーマ

#### 「自然と調和した便利で活気あふれる中部地域へ」

本地域では、「自然と調和した便利で活気あふれる中部地域へ」をテーマに取り組みます。

具体的には、「[県北地域の発展を主導する交流拠点都市]」の中心部としてふさわしい地域づくり、[観光振興や交流の推進を通じた活気あふれる地域づくり]を推進します。

### (4) まちづくりの方針と主要な施策

#### 「[県北地域の発展を主導する交流拠点都市]」の中心部としてふさわしい地域づくり」

賑わいのある交流エリアの形成	<ul style="list-style-type: none"> <li>○本市の主要な都市機能集積に応じた人口集積の推進及び賑わいのある交流エリアの形成を進めます。</li> <li>○玉名市中心部においては、まちづくりの中心拠点施設(コワーキングスペースや新規起業の拠点)整備を進めます。</li> </ul>
新玉名駅周辺:有効な土地利用による拠点性向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>○新玉名駅周辺等整備基本計画に基づき、『田園風景にたたく県北玉名のゲートタウン』の実現を目指し、周辺の土地利用との調和を図るとともに、適正な機能の誘導に努めます。</li> <li>○駅南の幹線道路沿いについては、商業系の機能を中心に誘導するとともに、地区内のインフラ整備を進めながら、県北の玄関口にふさわしい新たな都市空間の形成に努めます。</li> <li>○新玉名駅の駅舎イメージである「森の中の駅」を尊重し、周囲の田園風景との調和にも配慮した景観の形成に努めます。</li> <li>○新玉名駅の駐車場は、利用者の実態を定期的に把握しながら、周辺の開発等の動向を踏まえて、指定管理者制度による維持管理を継続します。</li> </ul>
玉名駅周辺:交通結節点としての機能向上、アクセス性の向上、拠点性向上及び賑わいのある交流エリアの形成	<ul style="list-style-type: none"> <li>○玉名駅においては、バス・タクシーとの連携を強化する取組を推進するなど、交通結節点としての機能向上を図るとともに、大野下駅、肥後伊倉駅と連携した公共交通システムを検討します。</li> <li>○玉名駅周辺については、中心拠点、観光拠点などの都市内の各拠点間を連絡する公共交通への乗り換え利便性の強化に向けて、交通結節点としてのユニバーサルデザインに配慮した機能の向上を図ります。</li> <li>○玉名駅周辺から玉名温泉街、新玉名駅までの歩行者・自転車ネットワークを確立する等、アクセス性の向上を図ります。</li> <li>○賑わいのある交流エリアの形成を図ります。</li> </ul>
玉名市役所本庁舎周辺:行政サービス機能の集積・強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>○玉名市役所本庁舎周辺については、歴史博物館ころろピア、玉名市民会館などが集積していることから、玉名市文化・行政拠点特別用途地区に指定しており、文化活動の拠点としての機能維持と、庁舎立地に伴う行政サービス機能の集積・強化を引き続き図ります。</li> </ul>

旧玉名市役所周辺：賑わいのある市街地形成	<ul style="list-style-type: none"> <li>○公共公益施設や生活サービス施設などが集積する旧玉名市役所周辺においては、民間事業者への市場調査を行うなど、便利で賑わいのある市街地の形成に向けて取組を進め、計画的な都市空間形成に努めます。</li> <li>○旧庁舎跡地については、今後は一層拠点エリアとしての求心力向上を図るため、旧庁舎跡地の有効活用や積極的な都市機能の誘導を図ります。</li> </ul>
公立玉名中央病院跡地の有効活用に向けた検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域にとって有益なスペースとなるように、一般地方独立行政法人くまもと県北病院と連携し、今後の具体的な利活用等の方向性を検討します。</li> </ul>
豊かな自然環境の継承	<ul style="list-style-type: none"> <li>○小岱山に連なる丘陵地は、現在、小岱山森林公園整備連絡協議会が、保全林整備と森林公園内保護管理及び運営を行っています。今後も、引き続き、豊かな自然環境とのふれあいの場、玉名らしい景観形成への活用、休息やレクリエーションの場としての活用を図ります。</li> <li>○営農環境の向上と農地の保全・活用、耕作放棄地の適正管理並びに利活用に向けた支援を実施します。</li> <li>○不法投棄の防止対策を講じます。</li> </ul>
地域住民主体による地域資源を活用した来訪者との交流促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○本市の環境軸である菊池川や繁根木川におけるウォーキングコースなどの整備を推進します。</li> <li>○小岱山登山ルート of 再整備並びに誘導サイン・案内サインの設置等を引き続き推進します。</li> </ul>
快適な住環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>○無秩序な宅地化の防止と既成市街地への住宅立地の誘導並びに居住環境の質的向上を図ります。</li> <li>○古くから市街化が形成された密集市街地(高瀬地区)については、地域住民が生活しやすく、市民にとって魅力ある地区として再生するため、地域コミュニティの維持・活用や伝統・文化の維持・保全、安全性の確保に配慮しつつ、地域住民、関係者との協働によるまちづくりの推進に努めます。</li> <li>○「玉名市公営住宅等長寿命化計画」に基づく公営住宅の建設や老朽化が著しい既設公営住宅などの改修を進めます。</li> <li>○住環境の整備・改善を進めます。</li> <li>○空き家・空き地の解消及び活用に向けた取組を実施します。</li> <li>○大規模空閑地における土地の有効活用を図ります。</li> <li>○県道寺田岱明線高瀬大橋交差点における渋滞解消対策を推進します。</li> </ul>
安心して、健康で元気に暮らし続けることができるまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>○福祉施策との連携による誰もが安心して暮らせる住宅施策の展開を図ります。</li> <li>○高齢者や観光客などの歩行者が多い地域などにおける「人」の視点に立った交通安全対策を推進します。</li> <li>○大規模地震の発生に備えた建築物の耐震化、耐火・不燃化並びに老朽密集市街地の環境改善を促進します。</li> <li>○避難所や医療機関などへの緊急輸送道路(通行機能)確保を推進します。</li> </ul>
自然災害から地域の住民の生命、財産を守る防災まちづくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○繁根木川などにおける河川改修を推進します。</li> <li>○土砂災害警戒区域における段階的な改善対策の推進を図ります。</li> </ul>
市民と行政による協働のまちづくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域住民や関係団体が一体となって活動する組織に対する支援を実施します。</li> </ul>

〔観光振興や交流の推進を通じた活気あふれる地域づくり〕

<p>玉名温泉街、高瀬地区、山田の藤等の観光施設、菊池川等の自然景観の有効活用・交流の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○玉名温泉街、高瀬地区、山田の藤等、市を代表する観光施設や菊池川等の自然景観の有効活用・交流の推進を図ります。</li> <li>○玉名温泉街については、広域的な観光連携も視野に入れ、新玉名駅へのアクセス向上や来訪者が安全・安心して訪れることのできるまちづくりを目指します。</li> <li>○高瀬地区の商店街については、景観条例(景観計画)及び地区計画により、引き続き、街並み景観の形成を推進します。また、地域の伝統、まつり、コミュニティなどの特性を取り入れた空間の形成や集客事業の展開及び情報発信に対する支援を実施します。</li> <li>○玉名温泉街や高瀬商店街では、ユニバーサルデザインの視点を踏まえ、主要な公共施設や各種集客施設周辺を中心に、道路幅の確保や歩道のバリアフリー化、電線類の地中化などによって、高齢者・障がい者など全ての歩行者が安全に移動できる歩行者空間の確保に努めます。</li> <li>○既存の商店街については、安全・安心で快適な歩行空間の確保や統一感のある街並み景観の形成、並びに、地域の特性を活かした賑わい空間の形成を推進します。</li> <li>○高瀬地区の菊池川一帯は、「高瀬地区かわまちづくり計画書」に基づく整備を行い、現在、民間団体によるカヌー体験、和船乗船体験、水辺カフェの開催など、菊池川の魅力を発信させるイベント活動が行われています。また、平成29年4月には、菊池川流域の「2千年にわたる米作り」をテーマとしたストーリーが日本遺産に認定されています。今後も、引き続き、河川管理者と地域住民との協働により、親水空間やレクリエーション空間の創出を図ります。</li> <li>○各種団体が連携した集客事業の展開(観光・温泉マップの統合及び拡充など)を、引き続き、推進していきます。</li> <li>○本市の環境軸である菊池川や、繁根木川における河川空間とまち空間の融合が図られた良好な空間形成及びイベント会場としての活用を図ります。</li> <li>○境川の県管理区間については、境川改修事業促進期成会の活動を通して河川改修の早期完成に向けて関係機関への要望を強化するとともに、市管理区間も下流とのバランスを考慮しながら計画的な整備を推進します。また、河川改修に当たっては、県や市が一体となって進めます。</li> </ul>
<p>市民の健康推進や地域コミュニティの活性化や防災に寄与する施設の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○蛇ヶ谷公園については、人や自然との交流の場として、また、市民の憩いの場、スポーツやレクリエーション及びコミュニティ活動などの場として、更なる機能の集積・充実を図るとともに、「玉名市地域防災計画」に災害時における指定緊急避難場所としても位置付け、計画的な整備を図ります。</li> </ul>



## 4. 3 西部地域（※対象地区：滑石、睦合、大野、高道、鍋）

### （1）地域の現況

#### 〔地勢〕

- 南西部の荒尾市、長洲町との隣接部、有明海沿岸部に位置し、岱明地区を中心とした菊池川右岸のエリアです。
- 岱明支所を中心に、地域の主要な動線である国道501号沿道及び県道長洲岱明線沿道に市街地が形成されていますが、地域の大半は田畑などの田園地帯が広がる自然に恵まれた地域です。
- 地域の中央部を東西方向に走る JR 鹿児島本線には、大野下駅が立地しています。
- 地域南側の有明海沿岸部には、交流拠点である鍋松原海岸があります。

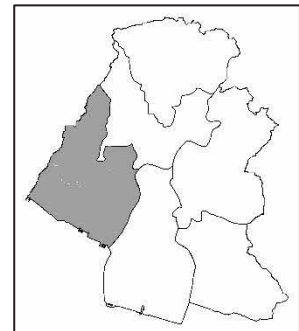
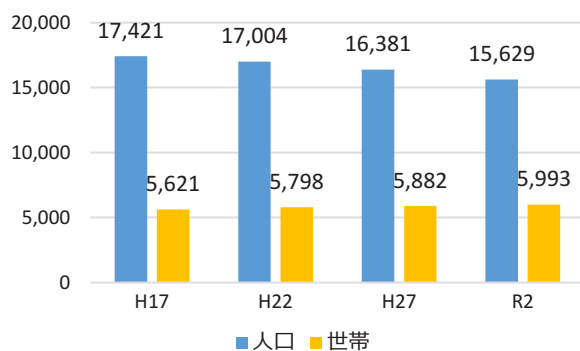


図 西部地域の位置

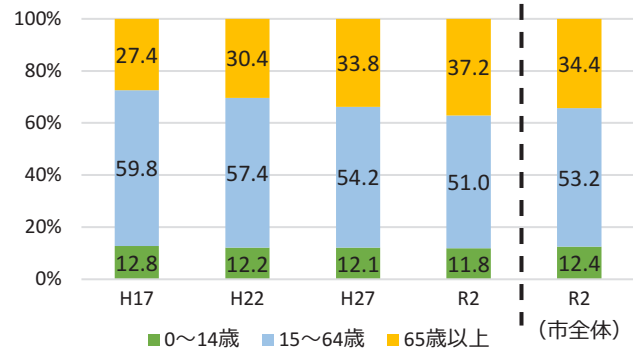
#### 〔人口〕

- 人口は緩やかに減少しています。年齢3区分人口構成比の推移を見ると、令和2年の高齢化率は市全体よりもやや高くなっており、緩やかに高齢化が進行しています。

人口・世帯の推移（西部）



年齢3区分人口構成比の推移（西部）

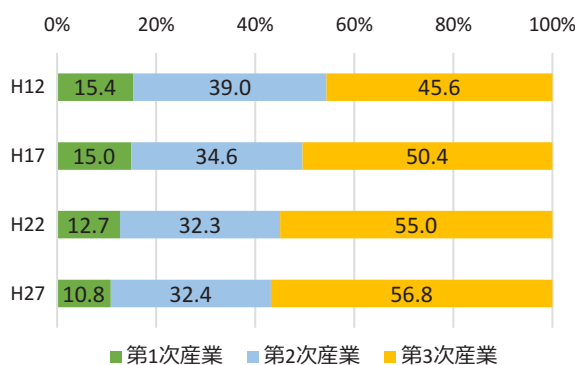


[出典：国勢調査]

#### 〔産業構造〕

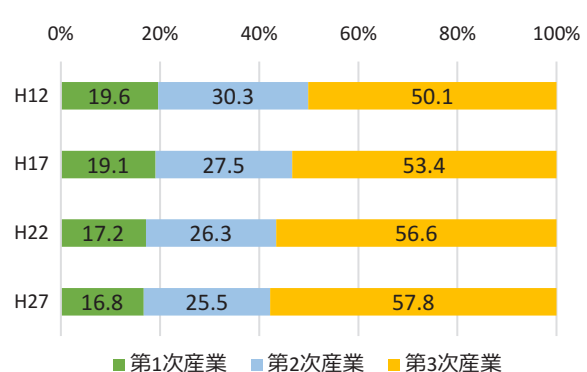
- 産業分類別就業人口の推移を見ると、市全体と比べて、第1次産業の割合が若干低く、第2次産業の割合が若干高くなっています。

産業分類別就業人口の推移（西部）



※分類不能の産業を除く

産業分類別就業人口の推移（玉名市）



※分類不能の産業を除く

[出典：国勢調査]



### 〔地域住民の評価〕

○アンケート調査からは、「海岸や河川、森の中の豊かな自然、史跡などの地域特性を活かした公園の整備」、「公共下水道、集落排水、浄化槽などの整備による河川・海洋などの水質保全・浄化」、「身近な生活基盤(道路、公園、下水道等)の整備・改善」などを重要だとする回答者が多い傾向にあります。

表一 将来の本市のまちづくりへの期待（各観点で1位のを抜粋）

観点	最も重要なもの	件数	選択肢内の比率
公園・緑地の整備	海岸や河川、森の中の豊かな自然、史跡などの地域特性を活かした公園の整備	76	58.9%
水環境に関わる施設の整備	公共下水道、集落排水、浄化槽などの整備による河川・海洋などの水質保全・浄化	72	55.8%
住宅地の環境向上	身近な生活基盤（道路、公園、下水道等）の整備・改善	68	53.1%
防災	避難地・避難路の確保	65	50.8%
道路・交通の整備	市街地・集落内における狭い道路の改善	64	49.6%
商業地	各地域の日常生活に密着した商店街の維持・再生	58	46.0%
農地、山林	まちの大切な自然として積極的に保全し、現状の農地や山林は維持すべき	52	40.9%
街並み・景観	市街地、駅前などでの賑わいのある景観づくり	50	38.8%
工業地	地場企業の活動支援や助成制度（税金の減免措置等）の充実	47	37.3%
観光地	既存観光施設の有効活用や活性化	39	33.3%

## （2）本地域における主要課題

### 〔地域資源の活用による新たな賑わいの創出〕

○地域内に点在する数々の歴史的資源や豊かな自然環境などを地域の財産として後世に継承するとともに、新たな賑わいを創出する地域資源として更なる活用を図る必要があります。

### 〔市街地としての利便性と居住地としての快適性の維持〕

○岱明支所を中心とした市街地においては、本市西部の地域拠点としての各種市民サービス機能の維持・改善や本市中心部への交通アクセス性の向上を図るとともに、既存集落においては、落ち着いたある快適な住環境を維持する必要があります。

### 〔安全で安心できる暮らしの実現〕

○浸水被害や高潮被害などといった自然災害や、火災、交通事故、犯罪などによる被害を抑制・軽減するため、地域住民と行政が一体となり、安全性の確保に努める必要があります。

### 〔伝統文化の継承による地域コミュニティの維持・向上〕

○神事や祭りなどの地域に根付いた伝統文化を後世に継承するとともに、地域住民と行政が一体となり、地域コミュニティを維持する必要があります。

### (3) 基本的な考え方・テーマ

#### 「地域資源を誇り、つながりを基軸とした暮らしやすい西部地域へ」

本地域では、「地域資源を誇り、つながりを基軸とした暮らしやすい西部地域へ」をテーマに取り組みます。具体的には、「地域資源を見つめ直し、活用したまちづくり」、「交流やつながりを通じた暮らしやすい地域づくり」を推進します。

### (4) まちづくりの方針と主要な施策

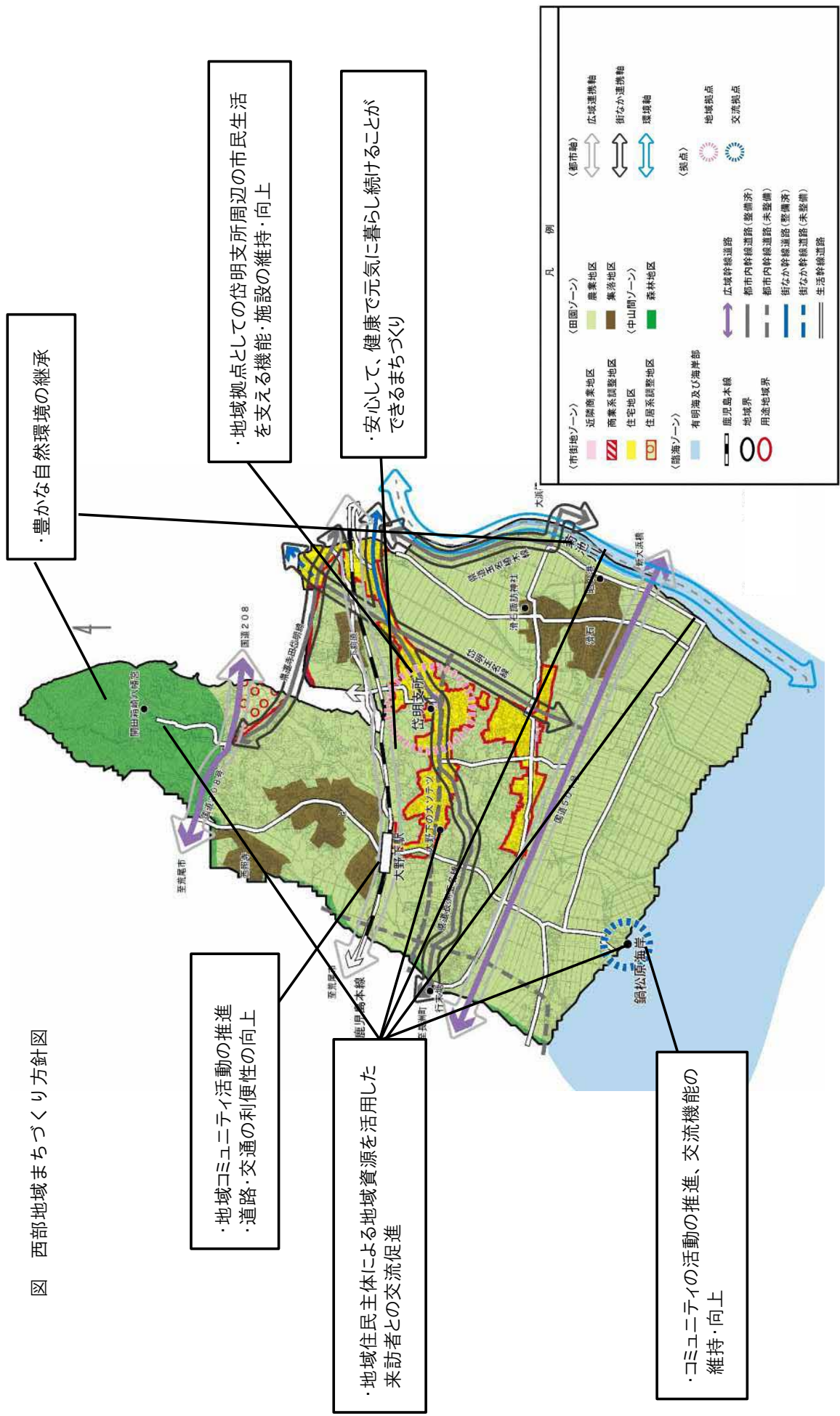
#### 「地域資源を見つめ直し、活用したまちづくり」

豊かな自然環境の継承	<ul style="list-style-type: none"> <li>○小岱山に連なる丘陵地は、現在、小岱山森林公園整備連絡協議会が、保全林整備と森林公園内保護管理及び運営を行っています。今後も、引き続き、豊かな自然環境とのふれあいの場、玉名らしい景観形成への活用、休息やレクリエーションの場としての活用を図ります。</li> <li>○営農環境の向上と農地の保全・活用、耕作放棄地の適正管理並びに利活用に向けた支援を実施します。</li> <li>○菊池川、有明海沿岸部、田畑等の自然環境の保全・活用を進めます。</li> <li>○不法投棄の防止対策を講じます。</li> </ul>
市民の健康推進や地域コミュニティの活性化に寄与する施設の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○岱明中央公園グラウンドの機能の充実を図ります。</li> <li>○岱明防災コミュニティセンターの機能の充実を図ります。</li> </ul>
地域住民主体による地域資源を活用した来訪者との交流促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○本市の環境軸である菊池川におけるウォーキングコースなどの整備を推進します。</li> <li>○小岱山登山ルート of 再整備並びに誘導サイン・案内サインの設置等を引き続き推進します。</li> <li>○「開田のホタル」、「日嶽」、「菊池川のハゼ並木」や「大野下の大ソテツ」、「晒船着場跡」、「鍋松原海岸」等、幅広く特色のある地域資源の活用を進めます。</li> <li>○地域主体による地域資源マップの作成や各種観光施設の改善、イベントバスの運行、誘導サイン・案内サインの設置などによる交流促進活動の支援を行います。</li> <li>○有明海の水質保全と海岸線の保全・活用に向けた環境学習会などを行います。</li> <li>○アサリや海苔などの地域を代表する水産物などを活かした観光産業の振興を図ります。</li> </ul>

## 〔交流やつながりを通じた暮らしやすい地域づくり〕

道路・交通の利便性の向上	<p>○有明海沿岸道路(熊本県側)の熊本市～大牟田市間については、継続して候補路線から計画路線への指定を要望するとともに、広域の交通ネットワークの観点から、有明海沿岸道路へのアクセス道路についても関係機関と連携して検討を進めます。</p> <p>○大野下駅においては、玉名駅、肥後伊倉駅と連携した公共交通システムを検討します。</p>
大野下駅での地域コミュニティ活動の推進	<p>○大野下駅は、人が集う場としても活用しており、今後も引き続き、そのような活動を推進します。</p>
鍋松原海岸におけるコミュニティ活動の推進、交流機能の維持・向上	<p>○鍋松原海岸では、現在、岱明漁協や地引網保存会による潮干狩り体験や地引網体験が行われています。今後も、地域団体と連携し、主に砂浜活用を中心に推進することで、レクリエーションによる交流機能の維持・向上を図ります。また、豊かな自然を活かし、既存施設の有効活用や周辺の他の観光資源との一体的な環境整備に努めます。</p>
地域拠点としての岱明支所周辺の市民生活を支える機能・施設の維持・向上	<p>○岱明支所周辺は、地域住民の生活の中心であり、教育・文化活動やコミュニティ活動の拠点として、周辺の公共公益施設の集約化や、生活サービス・文化交流機能の維持・向上に努めます。</p>
快適な住環境づくり	<p>○住環境の整備・改善を進めます。</p> <p>○空き家・空き地の解消及び活用に向けた取組を実施します。</p>
安心して、健康で元気に暮らし続けることができるまちづくり	<p>○路線バスの運行維持が困難な地域や公共交通空白地域における地域密着型の公共交通の維持・効果的な展開を推進します。</p> <p>○滑石地区などの住宅密集地における生活道路の整備を視野に入れた交通安全対策を推進します。</p> <p>○生活道路における事故抑止対策を実施します。</p> <p>○ハード・ソフト一体となった津波・高潮対策を推進します。</p> <p>○岱明中央公園グラウンドにおける指定緊急避難場所としての機能充実に努めます。</p> <p>○岱明防災コミュニティセンターの機能の充実に努めます。</p> <p>○地域住民が参加しやすい工夫を凝らした防災訓練を実施します。</p>
市民と行政による協働のまちづくりの推進	<p>○地域主体による伝統行事や自主活動(滑石地区ふれあいデー、地区対抗スポーツイベントなど)の開催に対する支援を行います。</p> <p>○地域住民や関係団体がともに活動する「地域運営組織(仮称)」の設置検討を進めます。</p> <p>○地域住民や関係団体が一体となって活動する組織に対する支援を実施します。</p> <p>○地域ネットワーク及び個々の団体などの活動促進に向けた公民館や集会所、空き家(遊休不動産)、学校施設などの既存施設を活用した活動拠点の形成を推進します。</p>
適切な土地利用の誘導による居住環境と営農環境の調和	<p>○既存農地における無秩序な宅地化の防止並びに既存集落への住宅立地を誘導します。</p>

図 西部地域まちづくり方針図



## 4.4 東部地域（※対象地区：伊倉、八嘉、小田、梅林）

### （1）地域の現況

#### 〔地勢〕

- 玉東町、和水町と隣接する市東部に位置し、菊池川をはじめ、山々や田畑を中心とした農地などの自然的資源に恵まれたエリアです。
- 本地域の主要な動線である国道 208 号、県道寺田岱明線沿道、県道熊本玉名線沿道に市街地や集落地が形成され、中央部を東西方向に走る JR 鹿児島本線には肥後伊倉駅が立地しています。

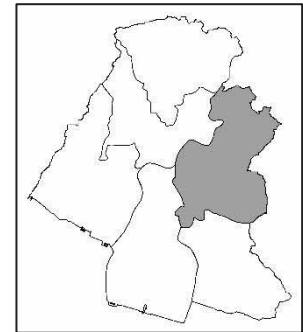
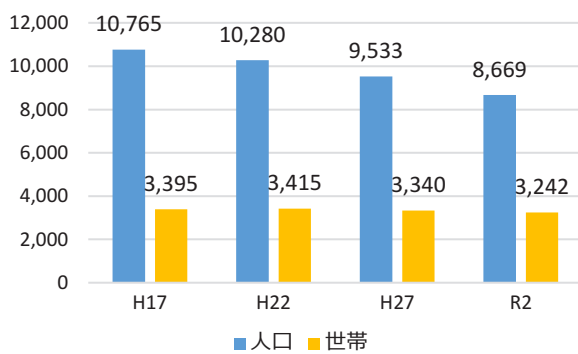


図 東部地域の位置

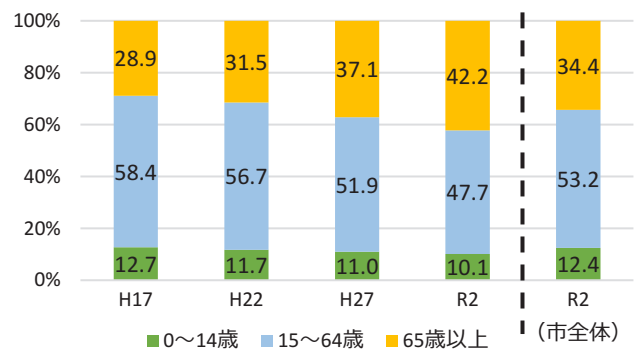
#### 〔人口〕

- 人口は減少傾向になっています。年齢3区分人口構成比の推移を見ると、令和2年の高齢化率は市全体よりも高くなっており、近年、急速に高齢化が進展しているのが特徴的です。

人口・世帯の推移（東部）



年齢3区分人口構成比の推移（東部）

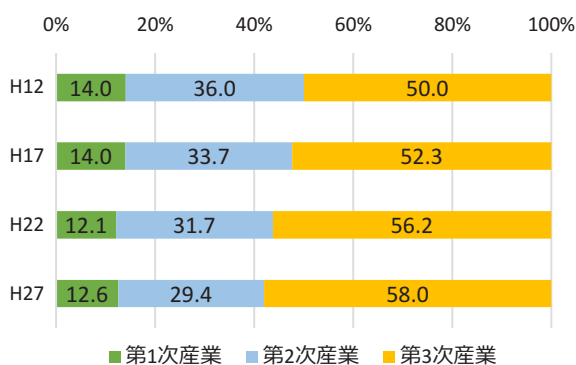


[出典：国勢調査]

#### 〔産業構造〕

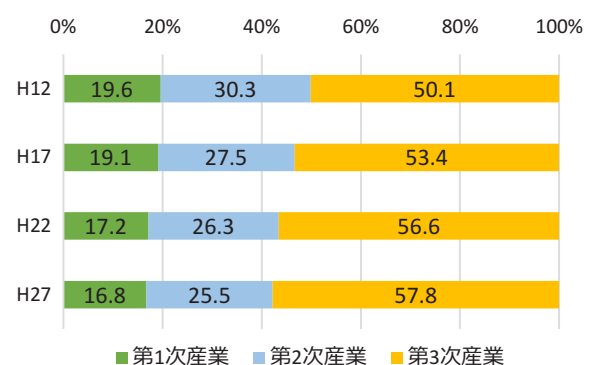
- 産業分類別就業人口の推移を見ると、市全体と比べて、第1次産業の割合が低く、第2次産業の割合が高くなっています。

産業分類別就業人口の推移（東部）



※分類不能の産業を除く

産業分類別就業人口の推移（玉名市）



※分類不能の産業を除く

[出典：国勢調査]

## 〔地域住民の評価〕

○アンケート調査からは、「公共下水道、集落排水、浄化槽などの整備による河川・海洋などの水質保全・浄化」、「身近な生活基盤(道路、公園、下水道等)の整備・改善」、「郊外部やバイパスなど幹線道路沿いへの商業施設の誘導」などを重要だとする回答者が多い傾向にあります。

表一 将来の本市のまちづくりへの期待（各観点で1位のを抜粋）

観点	最も重要なもの	件数	選択肢内の比率
水環境に関わる施設の整備	公共下水道、集落排水、浄化槽などの整備による河川・海洋などの水質保全・浄化	83	59.7%
住宅地の環境向上	身近な生活基盤（道路、公園、下水道等）の整備・改善	84	59.6%
商業地	郊外部やバイパスなど幹線道路沿いへの商業施設の誘導	73	52.5%
防災	避難地・避難路の確保	69	49.3%
道路・交通の整備	市街地・集落内における狭い道路の改善	68	48.6%
農地、山林	まちの大切な自然として積極的に保全し、現状の農地や山林は維持すべき	67	48.2%
街並み・景観	市街地、駅前などでの賑わいのある景観づくり	63	45.0%
公園・緑地の整備	海岸や河川、森の中の豊かな自然、史跡などの地域特性を活かした公園の整備	59	42.1%
観光地	既存観光施設の有効活用や活性化	46	35.7%
工業地	工場の敷地内緑化や、建物の美観促進、公害防止など、周辺環境との調和対策の推進	46	34.3%

## （２）本地域における主要課題

### 〔地域資源の継承と新たな賑わいの創出〕

○地域内に点在する数々の歴史的資源などを地域の財産として後世に継承するとともに、新たな賑わいを創出する地域資源として更なる活用を図る必要があります。

### 〔市街地としての利便性と居住地としての快適性の維持〕

○市街地においては、地域住民の生活利便サービス機能の維持・向上を図り、既存集落においては、人口減少・高齢化に対応した、落ち着いたある快適な住環境を維持する必要があります。

### 〔安全で安心できる暮らしの実現〕

○浸水被害や土砂災害などといった自然災害や、火災、交通事故、犯罪などによる被害を抑制・軽減するため、地域住民と行政が一体となり、安全性の確保に努める必要があります。

### 〔伝統文化の継承による地域コミュニティの維持・向上〕

○地域に根付いた伝統文化を後世に継承するとともに、日常の豊かな暮らしを実現するため、地域住民と行政が一体となり、地域コミュニティを維持する必要があります。

### (3) 基本的な考え方・テーマ

#### 「自然と歴史を感じ 安心して生活ができる東部地域へ」

本地域では、「自然と歴史を感じ 安心して生活ができる東部地域へ」をテーマに取り組みます。

具体的には、「自然的資源や歴史的資源を活かしたまちづくり」、「つながりのある安心して生活ができる地域づくり」を推進します。

### (4) まちづくりの方針と主要な施策

#### 〔自然的資源や歴史的資源を活かしたまちづくり〕

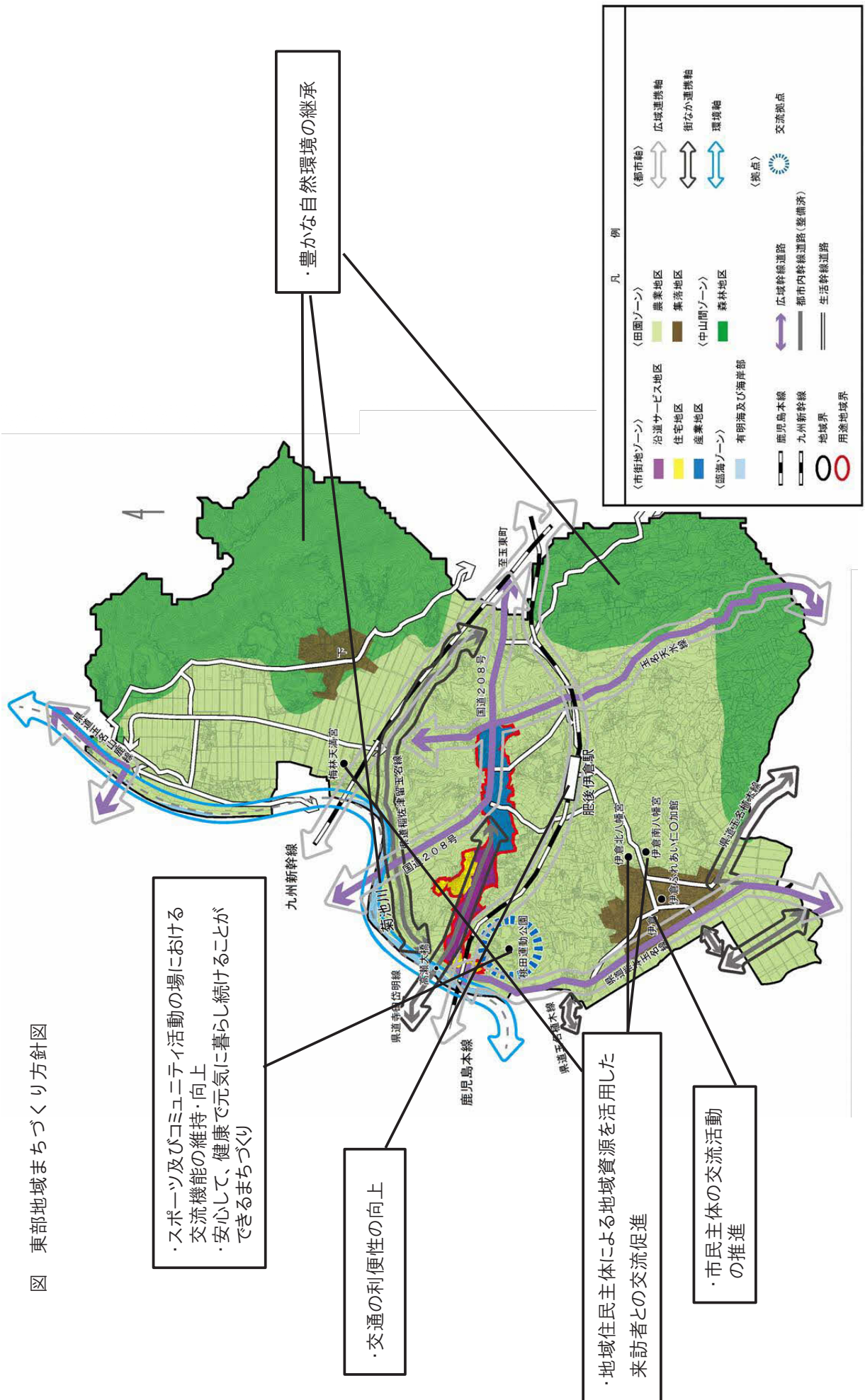
豊かな自然環境の継承	<ul style="list-style-type: none"> <li>○丘陵地における公益的機能(貯水機能、景観保全、生態系維持など)の維持・向上を図ります。</li> <li>○営農環境の向上と農地の保全・活用、耕作放棄地の適正管理並びに利活用に向けた支援を実施します。</li> <li>○菊池川や農地等の自然環境の保全・活用を図ります。</li> <li>○不法投棄の防止対策を講じます。</li> </ul>
地域住民主体による地域資源を活用した来訪者との交流促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域主体による地域資源(梅林天満宮、伊倉南北両八幡宮、伊倉ふれあい仁○加館(にわか)など)をめぐるコースの設定・紹介、農家民泊・農業体験の企画・運営並びに各種イベントの開催などといった地域資源の活用による交流促進活動に対する支援を行います。</li> <li>○本市の環境軸である菊池川における地域の景観、歴史、文化などを活かした河川空間とまち空間の融合による良好な河川空間の形成(遊歩道、ウォーキングコースの設定)を推進します。</li> <li>○集落内に点在する歴史的建造物(梅林天満宮、伊倉南北両八幡宮など)や伊倉仁○加・神楽をはじめとした伝統芸能などの保全・継承並びに観光・交流資源としての活用を図ります。</li> </ul>

〔つながりのある安心して生活ができる地域づくり〕

地域コミュニティの維持・向上	○小学校に代わるコミュニティ活動拠点の形成を図ります。
交通の利便性の向上	○肥後伊倉駅においては、大野下駅、玉名駅と連携した公共交通システムを検討します。
スポーツ及びコミュニティ活動の場における交流機能の維持・向上	○桃田運動公園等の市民の憩いの場、スポーツ及びコミュニティ活動の場における交流機能の維持・向上を図ります。
市民主体の交流活動の推進	○花づくりや伊倉フットパス等の市民主体の交流活動を推進します。 ○既存商店街における商店街活動の維持・継続に向けた後継者育成並びに賑わい再生・創出に向けたイベント開催(夜市の企画・運営など)支援を実施します。
快適な住環境づくり	○県道寺田岱明線高瀬大橋交差点における渋滞解消対策を検討します。 ○住環境の整備・改善を進めます。 ○空き家・空き地の解消及び活用に向けた取組を実施します。 ○山間部の集落地などにおける広場などの整備を推進します。
安心して、健康で元気に暮らし続けることができるまちづくり	○超高齢社会への対応や子育て世帯への支援に向けた賃貸住宅の立地を誘導します。 ○高齢者や障がいのある人の意見を活かしたバリアフリー対策を推進します。 ○土砂災害警戒区域における段階的な改善対策を推進します。 ○桃田運動公園における指定緊急避難場所としての機能を充実します。 ○通学路などの生活道路における事故抑止対策を実施します。
市民と行政による協働のまちづくりの推進	○将来の地域を担う若手後継者の組織化に向けた取組を実施します。 ○地域住民や関係団体が一体となって活動する組織に対する支援を実施します。
適切な土地利用の誘導による居住環境と営農環境の調和	○無秩序な宅地化の防止並びに既存集落への住宅立地を誘導します。



図 東部地域まちづくり方針図



## 4.5 南部地域（※対象地区：豊水、大浜、横島）

### （1）地域の現況

#### 〔地勢〕

- 市南部の有明海沿岸部に位置し、横島地区を中心とした菊池川左岸のエリアです。
- 横島支所を中心に、地域の主要な動線である国道501号沿道に市街地が形成されていますが、地域の大半は干拓による田園地帯が広がり、自然に恵まれた地域です。
- 有明中学校区により構成された地域であり、地域内の人のつながりが深い地域でもあります。

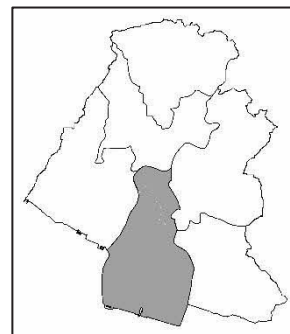
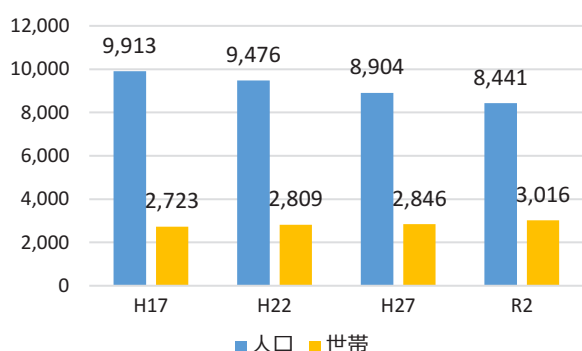


図 南部地域の位置

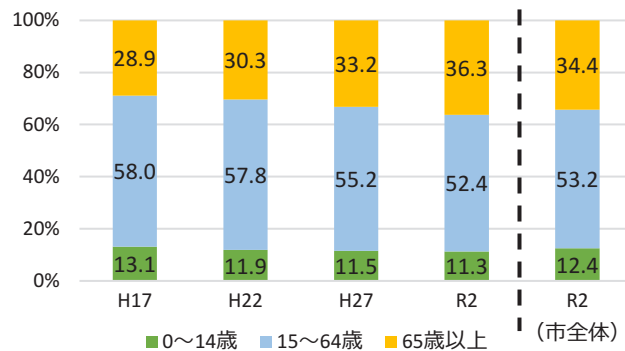
#### 〔人口〕

- 人口は緩やかに減少しています。年齢3区分人口構成比の推移を見ると、令和2年の高齢化率は市全体よりも若干高くなっており、緩やかに高齢化が進行しています。

人口・世帯の推移（南部）



年齢3区分人口構成比の推移（南部）

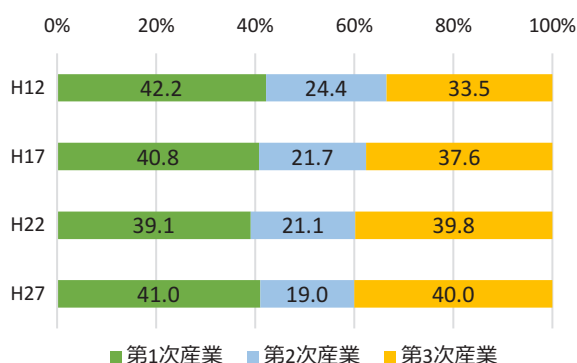


〔出典：国勢調査〕

#### 〔産業構造〕

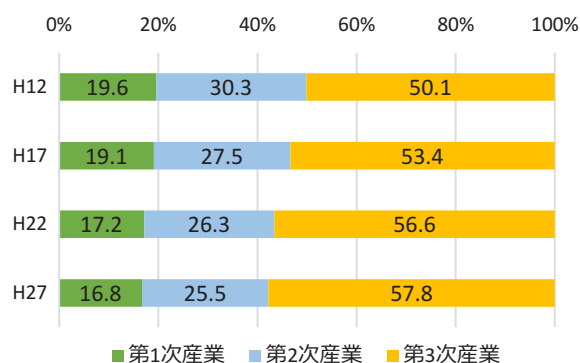
- 産業分類別就業人口の推移を見ると、市全体と比べて、第1次産業の割合が非常に高く、第2次・第3次産業の割合が低くなっています。

産業分類別就業人口の推移（南部）



※分類不能の産業を除く

産業分類別就業人口の推移（玉名市）



※分類不能の産業を除く

〔出典：国勢調査〕

### 〔地域住民の評価〕

○アンケート調査からは、「身近な生活基盤(道路、公園、下水道等)の整備・改善」、「公共下水道、集落排水、浄化槽などの整備による河川・海洋などの水質保全・浄化」、「避難地・避難路の確保」などを重要だとする回答者が多い傾向にあります。

表一 将来の本市のまちづくりへの期待（各観点で1位のを抜粋）

観点	最も重要なもの	件数	選択肢内の比率
住宅地の環境向上	身近な生活基盤（道路、公園、下水道等）の整備・改善	67	60.9%
水環境に関わる施設の整備	公共下水道、集落排水、浄化槽などの整備による河川・海洋などの水質保全・浄化	61	56.0%
防災	避難地・避難路の確保	58	54.2%
商業地	各地域の日常生活に密着した商店街の維持・再生	58	52.7%
農地、山林	まちの大切な自然として積極的に保全し、現状の農地や山林は維持すべき	53	48.6%
公園・緑地の整備	海岸や河川、森の中の豊かな自然、史跡などの地域特性を活かした公園の整備	50	45.9%
道路・交通の整備	市街地・集落内における狭い道路の改善	43	39.4%
工業地	地場企業の活動支援や助成制度（税金の減免措置等）の充実	41	38.0%
街並み・景観	市街地、駅前などでの賑わいのある景観づくり	39	37.1%
観光地	既存観光施設の有効活用や活性化	36	35.0%

## （2）本地域における主要課題

### 〔豊かな自然環境や数々の歴史的資源の保全・活用〕

○干拓による田園地帯や有明海、菊池川などの豊かな自然環境や、イチゴやトマト、アサリや海苔などの農水産物、地域内に点在する数々の歴史的資源などを地域の財産として後世に継承するとともに、新たな賑わいを創出する地域資源として更なる活用を図る必要があります。

### 〔市街地としての利便性と居住地としての快適性の維持〕

○横島支所を中心とした市街地においては、本市南部の地域拠点としての各種市民サービス機能の維持・改善や本市中心部への交通アクセス性の向上を図り、既存集落においては、落ち着いたある快適な住環境を維持する必要があります。

### 〔安全で安心できる暮らしの実現〕

○ゲリラ豪雨や台風を起因とした河川氾濫や有明海沿岸部の高潮被害、横島山の土砂災害などといった自然災害や、火災、交通事故、犯罪などによる被害を抑制・軽減するため、地域住民と行政が一体となり、安全性の確保に努める必要があります。

### 〔地域コミュニティの維持・向上〕

○神楽や祭りなどの地域に根付いた伝統文化を後世に継承するとともに、日常の豊かな暮らしを実現するため、地域住民と行政が一体となり、地域コミュニティを維持する必要があります。

### (3) 基本的な考え方・テーマ

#### 「干拓地を活かした 歴史・文化を感じる南部地域へ」

本地域では、「干拓地を活かした 歴史・文化を感じる南部地域へ」をテーマに取り組みます。

具体的には、〔自然環境の保全と地域資源としての活用による自然と共生したまちづくり〕、〔歴史・文化を感じる暮らしやすい地域づくり〕を推進します。

### (4) まちづくりの方針と主要な施策

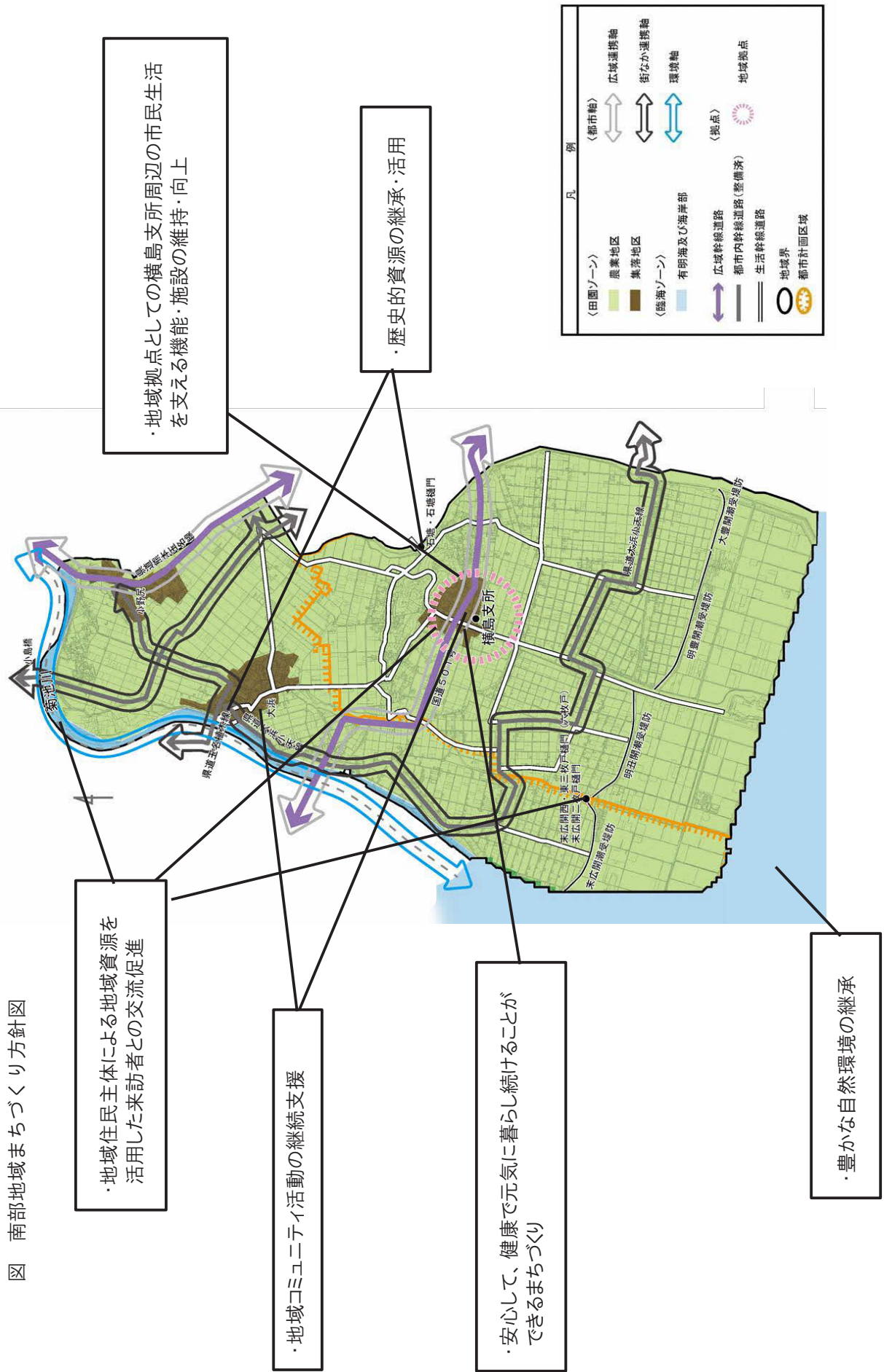
#### 〔自然環境の保全と地域資源としての活用による自然と共生したまちづくり〕

豊かな自然環境の継承	<ul style="list-style-type: none"><li>○営農環境の向上と農地の保全・活用、耕作放棄地の適正管理並びに利活用に向けた支援を実施します。</li><li>○有明海沿岸部、菊池川、干拓による田園地帯等の自然環境の保全・活用を図ります。</li><li>○豊かな自然景観の保護・保全に向けた景観勉強会を開催します。</li><li>○不法投棄の防止対策を講じます。</li></ul>
地域住民主体による地域資源を活用した来訪者との交流促進	<ul style="list-style-type: none"><li>○本市の環境軸である菊池川におけるウォーキングコースなどの整備を推進します。</li><li>○地域主体による地域資源マップ(歴史・観光マップ、イベントなど)の作成や誘導サイン・案内サインの設置、集客イベントの企画・運営(菊池川でのリバーウォーキング、旧玉名干拓施設を活用したPRイベントなど)を支援します。</li><li>○地域住民や民間企業が参画し、官民一体が協働で進める景観づくりを推進します。</li><li>○イチゴ・トマト・ミニトマト及びアサリや海苔などの地域を代表する農水産物などを活かした観光産業の振興を図ります。</li></ul>

## 〔歴史・文化を感じる暮らしやすい地域づくり〕

歴史的資源の継承・活用	○廻船問屋街、大浜飛行場及び関連施設跡、石塘・石塘樋門、旧玉名干拓施設等の歴史的資源の継承・活用を図ります。
地域拠点としての横島支所周辺の市民生活を支える機能・施設の維持・向上	○横島支所周辺は、地域住民の生活の中心であり、教育・文化活動やコミュニティ活動の拠点として、周辺の公共公益施設の集約化や、生活サービス・文化交流機能の維持・向上に努めます。
快適な住環境づくり、都市施設等の利便性の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>○住環境の整備・改善を進めます。</li> <li>○空き家・空き地の解消及び活用に向けた取組を実施します。</li> <li>○県道寺田岱明線高瀬大橋交差点における渋滞解消対策を検討します。</li> <li>○有明海沿岸道路(熊本県側)の熊本市～大牟田市間については、継続して候補路線から計画路線への指定を要望するとともに、広域の交通ネットワークの観点から、有明海沿岸道路へのアクセス道路についても関係機関と連携して検討を進めます。</li> <li>○本地域より本市中心拠点(玉名駅方面)への交通アクセス機能の向上を図ります。</li> <li>○菊池川堤防工事における空き地の公園化を推進します(大浜町)。</li> <li>○横島グラウンド及びその周辺における機能の集積・充実を図ります。</li> </ul>
安心して、健康で元気に暮らし続けることができるまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>○路線バスの運行維持が困難な地域や公共交通空白地域における地域密着型の公共交通の維持・効果的な展開を推進します。</li> <li>○時代に適合した移動網の検討を進めます。</li> <li>○ハード・ソフト一体となった津波・高潮対策を推進します。</li> <li>○土砂災害警戒区域における段階的な改善対策を推進します。</li> <li>○横島グラウンドにおける指定緊急避難場所としての機能を充実します。</li> </ul>
市民と行政による協働のまちづくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域住民や関係団体がともに活動する「地域運営組織(仮称)」の設置検討を進めます。</li> <li>○地域住民や関係団体が一体となって活動する組織に対する支援を実施します。</li> </ul>
地域コミュニティ活動の継続支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域主体による伝統行事(祭り、神楽など)並びに自主活動(地域の民話発掘・紹介、花いっぱい運動など)の保存に対する支援を実施します。</li> <li>○既存の商店街における商店街活動の維持・継続に向けた後継者育成並びに賑わい再生・創出に向けた取組に対する支援を実施します。</li> </ul>
適切な土地利用の誘導による居住環境と営農環境の調和	○既存農地における無秩序な宅地化の防止並びに既存集落への住宅立地を誘導します。

図 南部地域まちづくり方針図



## 4.6 南東部地域（※対象地区：玉水、小天、小天東）

### （1）地域の現況

#### 〔地勢〕

- 熊本市、玉東町と隣接する市南東部に位置し、天水地区により構成される、金峰山系の熊ノ岳・三ノ岳の緩やかな傾斜面を活用した果樹栽培が盛んな中山間地と田園地帯からなる自然的資源に恵まれたエリアです。
- 天水支所を中心に、県道熊本玉名線沿道に市街地が形成されており、その他主要な動線として、国道501号が地域を南北方向に縦断する形で配置されています。
- 天水中学校区により構成された地域であり、地域内の人のつながりが深い地域でもあります。

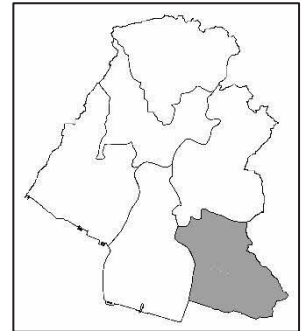
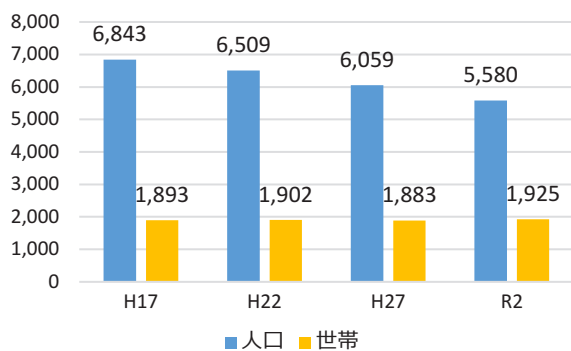


図 南東部地域の位置

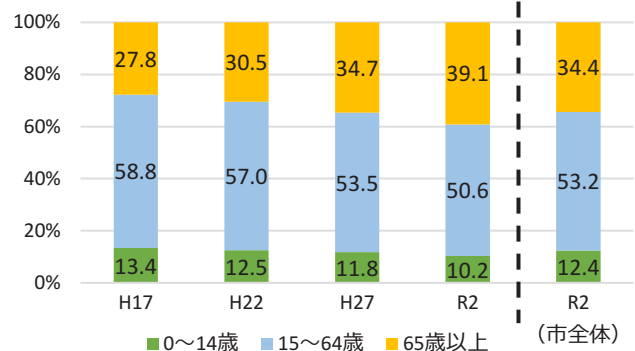
#### 〔人口〕

- 人口は減少傾向であり、令和4年4月より一部過疎指定地域となっています。年齢3区分人口構成比の推移を見ると、令和2年の高齢化率は市全体よりも高くなっており、緩やかに高齢化が進行しています。

人口・世帯の推移（南東部）



年齢3区分人口構成比の推移（南東部）

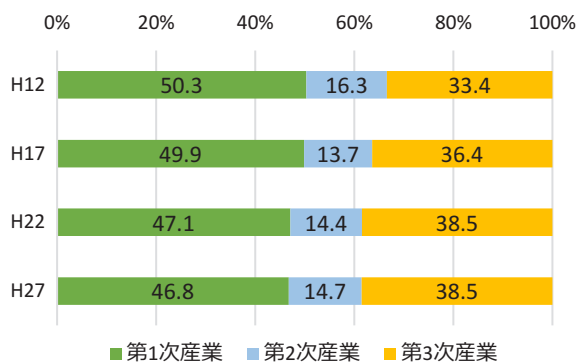


[出典：国勢調査]

#### 〔産業構造〕

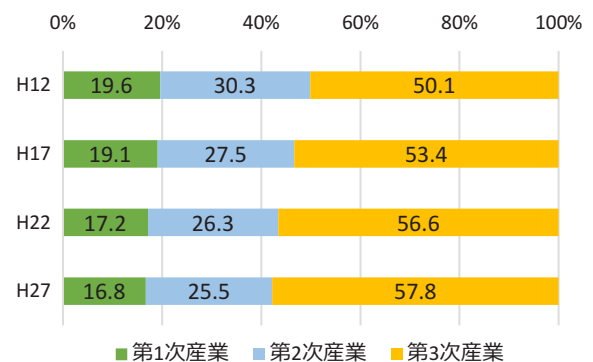
- 産業分類別就業人口の推移を見ると、市全体と比べて、第1次産業の割合が非常に高く、第2次・第3次産業の割合が低くなっています。第1次産業の割合は6地域の中で最も高くなっています。

産業分類別就業人口の推移（南東部）



※分類不能の産業を除く

産業分類別就業人口の推移（玉名市）



※分類不能の産業を除く

[出典：国勢調査]

## 〔地域住民の評価〕

○アンケート調査からは、「公共下水道、集落排水、浄化槽などの整備による河川・海洋などの水質保全・浄化」、「身近な生活基盤(道路、公園、下水道等)の整備・改善」、「治水・治山などの防災対策強化」などを重要だとする回答者が多い傾向にあります。

表一 将来の本市のまちづくりへの期待（各観点で1位のを抜粋）

観点	最も重要なもの	件数	選択肢内の比率
水環境に関わる施設の整備	公共下水道、集落排水、浄化槽などの整備による河川・海洋などの水質保全・浄化	82	63.1%
住宅地の環境向上	身近な生活基盤（道路、公園、下水道等）の整備・改善	80	60.2%
防災	治水・治山などの防災対策強化	77	58.3%
商業地	各地域の日常生活に密着した商店街の維持・再生	67	51.1%
公園・緑地の整備	海岸や河川、森の中の豊かな自然、史跡などの地域特性を活かした公園の整備	67	50.8%
道路・交通の整備	市街地・集落内における狭い道路の改善	66	50.0%
街並み・景観	田園や里山と調和した、のどかな景観づくり	56	42.7%
農地、山林	まちの大切な自然として積極的に保全し、現状の農地や山林は維持すべき	56	42.4%
工業地	地場企業の活動支援や助成制度（税金の減免措置等）の充実	48	36.9%
観光地	既存観光施設の有効活用や活性化	44	36.4%

## （２）本地域における主要課題

### 〔豊かな観光資源の保全・活用による交流促進〕

○本市の観光拠点として位置付けられる小天温泉をはじめ、地域内に点在する数々の歴史的資源、観光資源などの更なる活用を図るため、多くの来訪者・来街者を受け入れる受け皿づくりや、交流促進を図るためのソフト・ハード対応を図る必要があります。

### 〔市街地としての利便性と居住地としての快適性の維持〕

○天水支所を中心とした市街地においては、本市南部の地域拠点としての各種市民サービス機能の維持・改善や本市中心部への交通アクセス性の向上を図るとともに、既存集落においては、落ち着いたある快適な住環境を維持する必要があります。

○一部過疎地域に指定されているものの、農免道路により熊本市内へのアクセスが良好であり居住地としても十分なポテンシャルがあるため、そのような点を捉えたうえで、都市計画を検討していく必要があります。

### 〔安全で安心できる暮らしの実現〕

○住宅地や水田地帯の浸水被害や金峰山系の急傾斜地における土砂災害などといった自然災害や、火災、交通事故、犯罪などによる被害を抑制・軽減するため、地域住民と行政が一体となり、安全性の確保に努める必要があります。

### 〔地域コミュニティの維持・向上〕

○人口が急激に減少している中、日常の豊かな暮らしを実現するため、地域住民と行政が一体となり、地域コミュニティの維持、伝統・文化の継承を図る必要があります。



### (3) 基本的な考え方・テーマ

#### 「丘陵地の自然と文化が息づく 交流といやしのある南東部地域へ」

本地域では、「丘陵地の自然と文化が息づく 交流といやしの南東部地域へ」をテーマに取り組みます。具体的には、「豊かな自然や歴史・文化を活かしたまちづくり」、「交流といやしのある暮らしやすい地域づくり」を推進します。

### (4) まちづくりの方針と主要な施策

#### 〔豊かな自然や歴史・文化を活かしたまちづくり〕

豊かな自然環境の継承	<ul style="list-style-type: none"> <li>○有明海を望む天水地区の丘陵地は、全国でもトップクラスの生産量を誇るみかんの産地であることから、今後も、各種支援制度を活用し、生産活動の維持や丘陵地の環境保全に努めます。</li> <li>○営農環境の向上と農地の保全・活用、耕作放棄地の適正管理並びに利活用に向けた支援を実施します。</li> <li>○EM(有用微生物群)*などの使用による環境浄化活動を支援します。</li> <li>○不法投棄の防止対策を講じます。</li> </ul>
観光拠点における来訪者・観光客との交流の場づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>○前田家別邸、草枕温泉てんすい、草枕交流館、実山展望公園、尾田の丸池、笠智衆の生家など様々な地域資源や特色ある景観資源の活用を図ります。</li> <li>○地域の自然や豊富な農産物などを活用した体験・交流イベントを開催します。</li> <li>○小天温泉周辺における魅力的な観光空間の形成を図ります。</li> </ul>
地域住民主体による地域資源を活用した来訪者との交流促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域を担う中核農家の育成を支援します。</li> <li>○地元農産物などを活用した生産から加工、販売までを実施する事業者に対する支援並びに集客向上策の実施支援を行います。</li> <li>○地域主体による地域資源マップ(歴史・観光マップ、イベントなど)の作成や誘導サイン・案内サインの設置、集客イベント(小説「草枕」、夏目漱石を活用したイベントなど)の企画・運営に対する支援を行います。</li> <li>○「尾田の丸池」の名水や地域内で採れる薬草などを活用した地域おこし活動に対する支援を実施します。</li> <li>○官民が協働で進める良好な景観形成に向けた取組(眺望ポイントの整備・改善(休憩施設など)、PRの実施、景観にちなんだイベント開催など)に対する支援を検討します。</li> </ul>

【交流といやしのある暮らしやすい地域づくり】

自然環境の休息やレクリエーションの場としての活用	○金峰山系山間部は休息やレクリエーションの場としての活用を推進します。
既存観光施設の有効活用や活性化	○小天温泉における既存観光施設の有効活用や活性化を図ります。
地域拠点としての天水支所周辺の市民生活を支える機能・施設の維持・向上	○天水支所周辺は、地域住民の生活の中心であり、教育・文化活動やコミュニティ活動の拠点として、周辺の公共公益施設の集約化や、生活サービス・文化交流機能の維持・向上に努めます。
快適な住環境づくり、都市施設等の利便性の向上	○住環境の整備・改善を進めます。 ○空き家・空き地の解消及び活用に向けた取組を実施します。 ○県道寺田岱明線高瀬大橋交差点における渋滞解消対策を検討します。 ○有明海沿岸道路(熊本県側)の熊本市～大牟田市間については、継続して候補路線から計画路線への指定を要望するとともに、広域の交通ネットワークの観点から、有明海沿岸道路へのアクセス道路についても関係機関と連携して検討を進めます。 ○本地域より本市中心拠点(玉名駅方面)への交通アクセス機能の向上を図ります。 ○天水グラウンドの機能の充実を図ります。
安心して、健康で元気に暮らし続けることができるまちづくり	○福祉施策との連携による誰もが安心して暮らせる住宅施策を展開します。 ○路線バスの運行維持が困難な地域や公共交通空白地域における地域密着型の公共交通の維持・効果的な展開を推進します。 ○高齢者や観光客などの歩行者が多い地域などにおける「人」の視点に立った交通安全対策を推進します。 ○平坦部から唐人川に挟まれた地区における排水対策を検討します。 ○イノシシによる人的被害防止対策を推進します。 ○生活道路における事故抑止対策を実施します。 ○土砂災害警戒区域における段階的な改善対策を推進します。 ○天水グラウンドにおける指定緊急避難場所としての機能を充実します。
市民と行政による協働のまちづくりの推進	○地域住民や関係団体がともに活動する「地域運営組織(仮称)」の設置検討を進めます。 ○地域住民や関係団体が一体となって活動する組織に対する支援を実施します。
地域コミュニティ活動の継続支援	○小天天子宮の「火の神祭り」をはじめ、各地区に伝わる祭りや神楽などの伝統文化を継承します。 ○「草枕の里」のPR活動や団体の育成を支援します。
適切な土地利用の誘導による居住環境と営農環境の調和	○計画的な土地利用による集落の維持向上を図ります。 ○既存農地における無秩序な宅地化の防止並びに既存集落への住宅立地を誘導します。

